

## 6 その他

【6-1】緑化センター月別利用者数(令和3年度末)

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	152	162	202	135	94	158	410	222	47	0	0	62	1,644

※開所(昭和58.4.1)からの累計 213,519人

資料:特定非営利活動法人 緑の相談室

担当:森林整備課

【6-2】普及職員配置状況

(単位:人)

年度	林業普及指導員					合計
	本庁	林業技術センター	計	普及区	計	
平成 28	0	3	3	36	36	39
29	0	3	3	36	36	39
30	0	3	3	36	36	39
令和元	0	3	3	36	36	39
2	0	3	3	36	36	39
3	0	3	3	36	36	39

担当:林業技術センター

(付表)林業普及指導員の普及区別配置状況

(単位:人)

年度 普及区	平成 28	29	30	令和元	2	3
盛岡	4	4	4	4	4	4
県南	15	15	15	15	15	15
本局	4	4	4	4	4	4
花巻	4	4	4	4	4	4
遠野	3	3	3	3	3	3
一関	4	4	4	4	4	4
沿岸	11	11	11	11	11	11
本局	2	2	2	2	2	2
宮古	4	4	4	4	4	4
岩泉	2	2	2	2	2	2
大船渡	3	3	3	3	3	3
県北	6	6	6	6	6	6
本局	3	3	3	3	3	3
二戸	3	3	3	3	3	3
計	36	36	36	36	36	36

担当:林業技術センター

【6-3】普及指導職員研修実施状況(令和3年度)

(ア) 国等を行う中央研修

研 修 名	受 講 者 数	研 修 日 数	場 所
1 一般研修	2人	3日	オンライン参加
2 林業機械研修	2人	2~4日	森林技術総合研修所 林業機械化センター
3 普及指導職員シンポジウム			
(1) 全国	3人	2日	書面開催
(2) 東北・北海道ブロック	1人	1日	書面開催

(イ) 県が実施した研修

研 修 名	受 講 者 数	研 修 日 数	場 所
1 現地普及定着研修 森林保護技術ほか	50人	1日	矢巾町ほか
2 その他の研修 資質向上研修	43人	1~2日	矢巾町ほか
3 全体研修	39人	11日	視聴開催

担当：林業技術センター

## 【6-4】緑の少年団の推移

(単位:団数:団、団員数:人)

区分 \ 年度	平成29	30	令和元	2	3
団 数	103	103	103	97	93
団 員 数	3,650	3,640	4,033	3,383	3,351

担当:森林整備課

【6-5】林業研究グループ等の推移

(単位:グループ数:グループ、会員数:人)

区 分		年 度					
		平成 29	30	令和 元	2	3	
林業研究グループ	グループ数	17	16	16	16	15	
	会員数	男	247	247	247	221	211
		女	49	43	43	37	37
		計	296	290	290	258	248

注:平成24年度以降は岩手県林業研究グループ連絡協議会会員のみ記載  
 担当:林業技術センター

【6-6】研究課題（令和3年度実施）

事業名、研究課題名（予算区分）

- 1 優良品種開発促進事業（県単）
  - (1) マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発
  - (2) スギ花粉等多様な形質の家系評価と検定技術の開発
  
- 2 広葉樹材乾燥技術開発事業（県単）
  - (1) 広葉樹資源の高付加価値化に向けた技術開発
  
- 3 林業普及指導事業（林業普及情報活動システム化）
  - (1) 広葉樹被害の実態把握と防除技術の開発
  - (2) 効率的なウルシ実生苗木の安定生産技術の開発
  
- 4 試験研究（県単）
  - (1) 原木シイタケ安全安心栽培技術の開発
  - (2) 原木シイタケの高収益栽培技術の開発
  - (3) カラマツ優良種苗の安定生産に向けた技術体系化
  - (4) アカマツ伐採跡地における菌根性きのこの早期発生技術の開発
  - (5) アミガサタケ人工栽培技術の開発
  - (6) 天然更新を活用した針葉樹伐採跡地における森林更新技術の開発
  - (7) 針葉樹大径材の利用拡大を目指した板・挽き割の効率的な生産技術の開発

担当：林業技術センター